



基本 構想

第1章 まちづくりの視点と将来都市像

第2章 基本目標

第3章 基本指標

第4章 土地利用構想

第5章 施策体系

まちづくりの視点と将来都市像

我が国では、「高度成長期」や「安定成長期」における右肩上がりの人口増加を前提にしたまちづくりを進めてきた結果、「物質的な豊かさ」を得ることはできましたが、バブル崩壊を経て「成熟期」に移行した現在は、人々の価値観も多様化し、「心の豊かさ」がより求められるようになりました。

昨今では、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、人々の行動様式や価値観に大きな変化をもたらし、超高齢化や人口減少社会など社会構造も大きく変わる中、行財政運営はますます厳しい状況に直面しています。

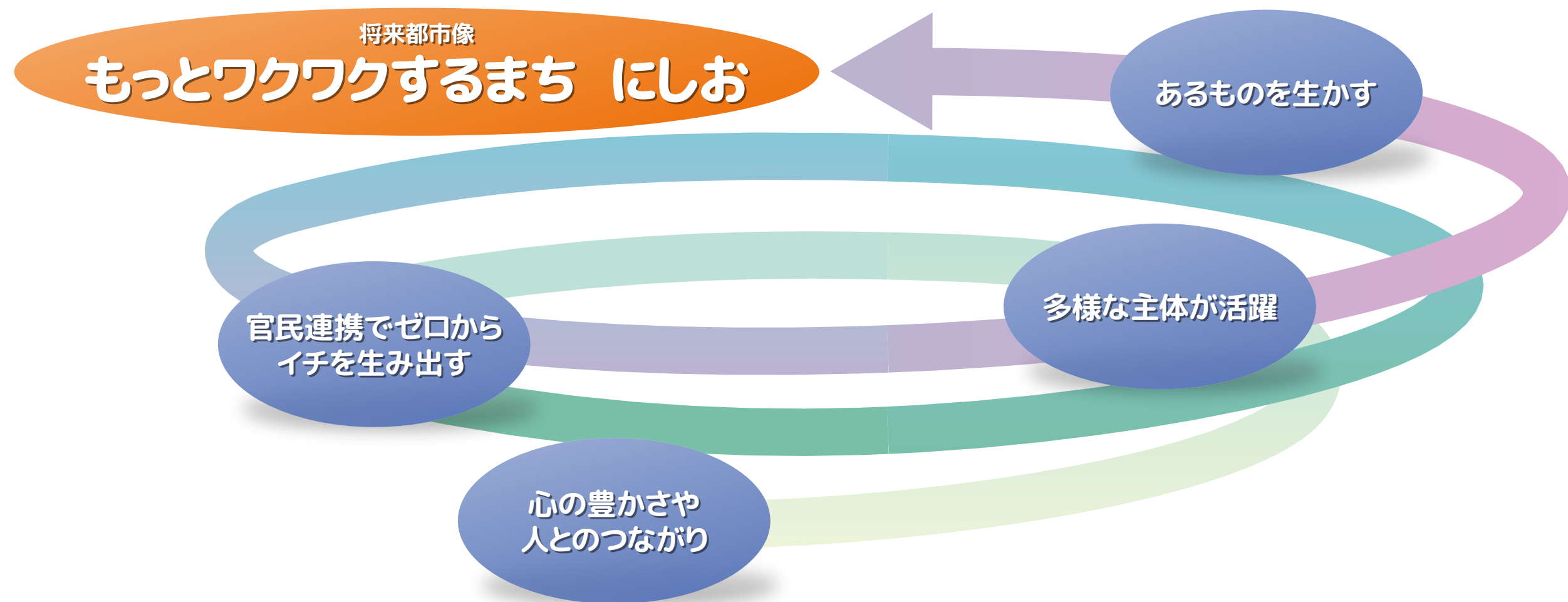
こうした大きな変革期におけるまちづくりはどうあるべきか。

VUCA（ブーカ）^{※13}と呼ばれるように、変化が激しく複雑性や不確実性が高い昨今においては、従来の行政主体のまちづくりでは限界があり、官民連携^{※14}を重視した共創のまちづくりを展開することが重要であると考えます。

以上を踏まえ、本市の未来を切り拓くための「まちづくりの視点」には次の項目を掲げます。

- 心の豊かさや人とのつながりを感じられるまちづくり
- 多様な主体が活躍できるまちづくり
- 官民連携により、ゼロからイチを生み出せるまちづくり
- ないものねだりではない、あるものを生かすまちづくり

これらの「まちづくりの視点」を生かした取組を積極的に展開し、未来に向かって「ワクワク」でき、夢や希望を持てる躍動感に満ちたまちを目指すため、「もっとワクワクするまち にしお」を将来都市像とします。



※13 VUCA（ブーカ）：Volatility（変動性）やUncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）という4つのキーワードの頭文字を取った言葉で、変化が激しく、あらゆるものを取り巻く環境が複雑性を増し、想定外の事象が発生する将来予測が困難な状態のこと。

※14 官民連携：官（市）と民（民間企業など）が連携して公共サービスを提供する手法のこと。

将来都市像の実現に向けて、次の6つの基本目標を設定します。

新たな魅力に挑戦するまち

～観光・歴史文化・スポーツ・産業分野～

既存産業の振興や新産業の創出、AIやIoTなど新しい技術を活用した農業振興、歴史・文化の価値の再発見、スポーツ施設の整備やそれらを活用した市民が元気になる仕組み、地域の自慢となるトップアスリートの輩出など、市内にある豊富な資源を活用・ブラッシュアップ※15し、それらを全世界に向けて発信し活性化していく、そんな新しい魅力の創造・発掘・発信に挑み続けるまちを目指します。

誰もがほっとする 持続可能なまち

～社会基盤分野～

西尾に暮らし、働き、学び、訪れる、あらゆる人にとって、気候変動が及ぼす影響にも不安を抱き怯えることのない、「ほっと」する気持ちで暮らせるまちを目指します。また、きれいで安全な道路や親しみやすい公園などを安心して利用でき、地域交通ネットワークを確立し誰もが利便性と快適性を感じ暮らせる、「ほっと」できるまちを目指します。そんな「ほっと」感があふれるまちを持続し、次の世代にも確実につなげていきます。

ともに楽しみ、ともに学び、ともに夢みるまち

～子育て・教育分野～

親や子ども、友だち、みんながともに遊び、ともに楽しみながら子育てができ、子どもたちが健やかに育つまちを目指します。また、人生100年時代において、いくつになっても、ともに学ぶことができ、確かな学力を付けるための充実した教育と生きる力を育み、友だちや仲間とともにそれぞれの将来の夢に向かって一緒に考え、進んでいくことのできるまちを目指します。

健康をつなげ 幸せがつながるまち

～健康・福祉分野～

心身ともに健康な状態を継続できること。地域医療体制を充実させ、市民の健康につなげること。市民が健康診査を継続的に受診して健康を維持できること。住み慣れた地域で切れ目のない支援が受けられる健康づくりの仕組みをつくること。市民の健康な暮らしを支援すること。これら全てがつながり合って地域がつながり、地域で支え合いつつ、市民が分け隔てなく笑顔で幸せがずっと続いていくまちを目指します。

いのちを守る 暮らしを守る 環境を守るまち

～自然環境・生活分野～

市民の命や財産を地震や津波、暴風雨、火災など、いつ起こるかわからないあらゆる災害から守り、犯罪に巻き込まれることのないよう市民のいつもの暮らしを守れるまちを目指します。また、海や山、川といった豊かな自然環境を守り、潤いに満ちた暮らしを営むことができ、次代を担う世代が西尾の環境に誇りをもち、積極的にその保全に取り組むことができるまちを目指します。

誰もがキラキラと輝き、誇り・愛着の持てるまち

～市民・行政分野～

市民をはじめ、地域で活躍する団体や企業、行政などのあらゆる主体が、性別や年齢、国籍の垣根を越え、手を取り合い助け合って生涯活躍する、そのようなキラキラと輝く人であふれるまちを目指します。また、キラキラ輝く人たちがまちづくりの推進力となり、西尾の魅力発信やシビックプライド※16の醸成、カーボンニュートラル社会の形成に向けた取組をすることで、誰もが西尾に魅力を感じ、好きになり、愛着を持てるまちを目指します。

※15 ブラッシュアップ：能力や技術力など今あるものに磨きをかけ、さらに良くすること。

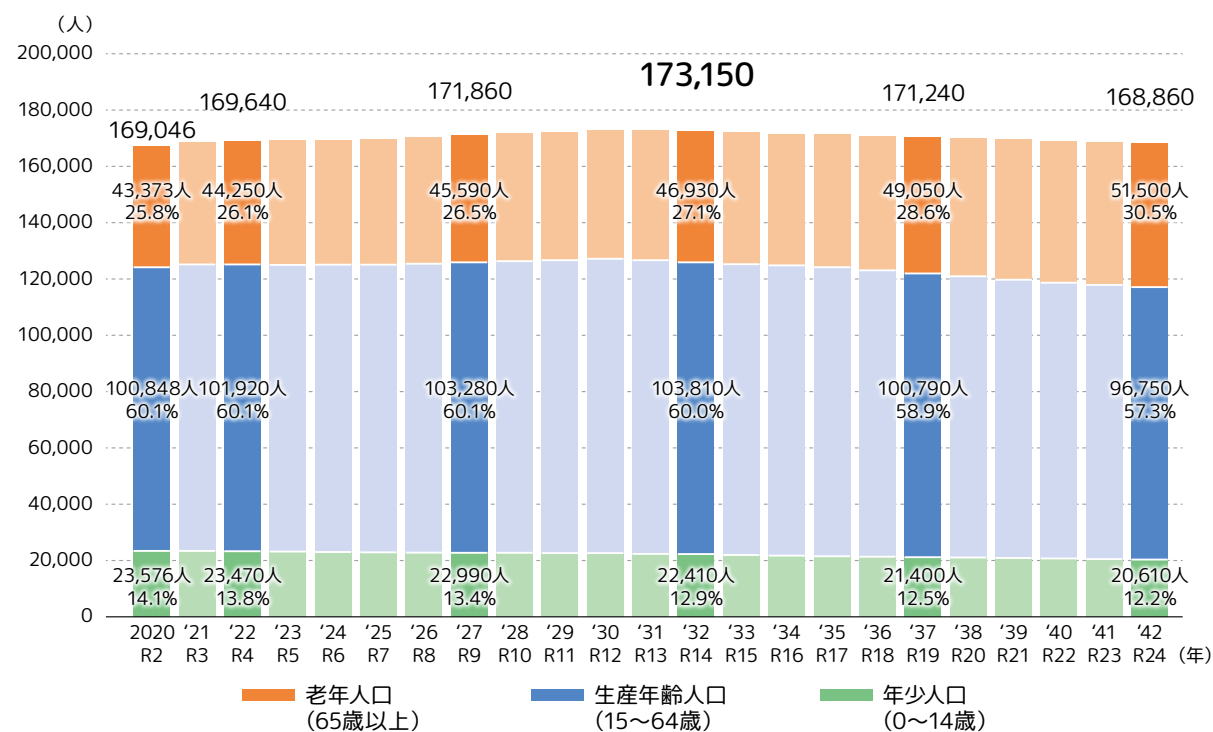
※16 シビックプライド：まちへの「誇り」や「愛着」を持ち、自ら関わっていかうとする気持ちのこと。

1 総人口

2032年（令和14年）の総人口 173,150人

企業誘致による転入者の増加などにより、2030年（令和12年）頃までは人口はゆるやかに増加し、その後、減少局面へと転じ、2032年（令和14年）には173,150人と2020年（令和2年）の人口より4,100人程度増加する見通しです。

将来人口



将来人口と3区分別人口

区分	2020※（R2）		2022（R4）		2027（R9）		2032（R14）	
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
総人口	169,046人	100.0%	169,640人	100.0%	171,860人	100.0%	173,150人	100.0%
老年	43,373人	25.8%	44,250人	26.1%	45,590人	26.5%	46,930人	27.1%
生産年齢	100,848人	60.1%	101,920人	60.1%	103,280人	60.1%	103,810人	60.0%
年少	23,576人	14.1%	23,470人	13.8%	22,990人	13.4%	22,410人	12.9%

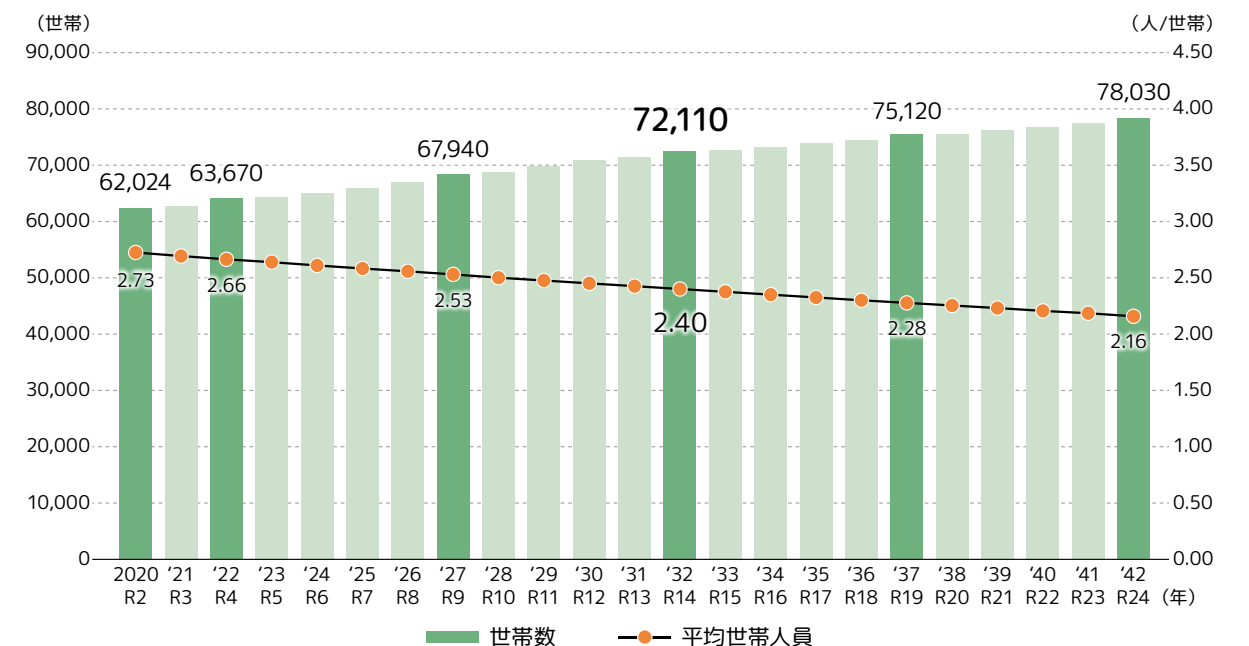
※ 2020年（令和2年）の総人口には年齢不詳を含むため、3区分別人口の合計と一致しない。構成比は3区分別人口の合計に対する割合。

2 総世帯

2032年（令和14年）の総世帯 72,110世帯

今後も平均世帯人員は減少が続き、2032年（令和14年）の世帯総数は約72,110世帯、平均世帯人員は2.40人/世帯となる見通しです。

将来世帯



1 土地利用ゾーン

将来都市像の実現に向けて、地域を「住居系市街地ゾーン」「工業系市街地ゾーン」「田園・集落ゾーン」「自然環境保全ゾーン」の4つのゾーンに区分し、土地利用誘導を行います。

住居系市街地ゾーン

- ・既存の市街地を中心として住居系市街地ゾーンとして位置づけ、災害に対する備えや環境衛生、生活利便性の向上を図り、安全・安心・快適な居住環境の創出に努めます。
- ・中心市街地や各地域の中心地においては、市役所や支所を中心とした日常生活を支える市民サービスの充実を図ります。

工業系市街地ゾーン

- ・既存の工業用地や地場産業施設などを工業系市街地ゾーンとして位置づけ、周辺環境や自然との調和に配慮しつつ製造業などの産業集積を図ります。

田園・集落ゾーン

- ・優良農地や周辺の集落を含めた郊外部を田園・集落ゾーンとして位置づけ、農業を振興させるため、優良農地の確保や農業関連機能の整備を進め、営農環境の維持・向上を図ります。
- ・農業の持つ多面的機能をまちづくりに生かしながら、都市空間と調和した農地の保全に努めます。

自然環境保全ゾーン

- ・矢作川・矢作古川などの河川、三ヶ根山などの山や丘陵地、三河湾や佐久島をはじめとした島々を自然環境保全ゾーンとして位置づけます。
- ・水辺環境の保全や水質浄化を進めるとともに、のどかで自然豊かな島しょ景観の保全に努めます。

2 拠点の形成

都市機能の集積や居住環境の整備を図るための事業を重点的に実施すべき地区として、以下のように、都心拠点、地域生活拠点、新生活拠点、産業拠点、交流拠点を位置づけます。

都心拠点

- ・名鉄西尾駅周辺を中心としたエリアを都心拠点として位置づけます。
- ・広域行政や商業・業務、飲食、福祉・市民サービス、文化・娯楽、観光・情報発信などの都市機能の集積を図ります。
- ・歴史資源の活用とともに、本市の顔として魅力的なまち、にぎわいを創出誘導するエリアとして拠点形成を図ります。

地域生活拠点

- ・各支所周辺を中心としたエリアを地域生活拠点として位置づけます。
- ・商業や飲食、福祉・市民サービスなどの生活利便施設の集積を誘導し、地域生活を支えるエリアとして拠点形成を図ります。

新生活拠点

- ・名鉄上横須賀駅周辺を中心としたエリアを、生活の場として新たな機能を拡充する拠点として位置づけます。
- ・駅周辺や周辺道路・ロータリーの整備とともに、市街化区域の拡大と新たな都市機能の導入を図ります。
- ・一体的な都市基盤整備とともに、住宅地や商業施設の整備などを想定します。

産業拠点

- ・新たに工業団地として、整備を促進する産業拠点として位置づけます。
- ・省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入[※]を誘導しながら、生産の場としての魅力づくりをするエリアとして拠点形成を図ります。

交流拠点

- ・憩の農園や一色さかな広場、道の駅にしお岡ノ山、愛知こどもの国、吉良温泉などの周辺は、来訪者をもてなす交流拠点として位置づけます。
- ・観光地としての機能の充実やアクセス向上、特色ある景観形成による魅力的な空間づくりなどを推進します。

※再生可能エネルギーの導入は、産業拠点をはじめとして市内全域において推進します。

3 都市・交通軸の形成

周辺都市や拠点間を結ぶ幹線道路を都市軸として位置づけ、整備促進を関係機関に働きかけます。また、市内の鉄道などの公共交通を交通軸として位置づけ、利用促進・維持を図ります。

広域都市軸

(都)名豊道路(国道23号)

- ・本市の北部を横断し、名古屋市から豊橋市を結ぶ広域都市軸

(都)衣浦岡崎線

- ・本市から碧南市方面及び岡崎市方面に向かう広域都市軸
- ・産業拠点を結ぶ都市軸を兼ねる

(都)国道247号線

- ・本市南部から蒲郡市方面に向かう広域都市軸
- ・3つの地域生活拠点(一色、吉良、幡豆)を結ぶ都市軸を兼ねる

(都)安城一色線(西三河南北道路)

- ・地域生活拠点(一色)から安城市方面に向かう広域都市軸
- ・都心拠点と地域生活拠点(一色)を結ぶ都市軸を兼ねる

(都)衣浦蒲郡線

- ・(都)衣浦岡崎線から幸田町・蒲郡市方面に向かう広域都市軸

(県)幸田幡豆線

- ・地域生活拠点(幡豆)から幸田町方面に向かう広域都市軸

名浜道路

- ・本市を横断し、中部国際空港・衣浦港から幸田町方面に向かう広域都市軸

都市軸

(都)花蔵寺花ノ木線～(都)西尾吉良線～県道西尾吉良線～(都)荻原川畑吉田線

- ・都心拠点と新生活拠点、地域生活拠点(吉良)を結ぶ都市軸

(都)西尾幡豆線

- ・都心拠点と地域生活拠点(幡豆)を結ぶ都市軸

(都)斉藤一色線

- ・都心拠点と地域生活拠点(一色)を結ぶ都市軸

公共交通軸

名鉄西尾線・蒲郡線

- ・本市から安城市方面及び蒲郡市方面に向かう交通軸
- ・都心拠点と2つの地域生活拠点(吉良、幡豆)と交流拠点を結ぶ

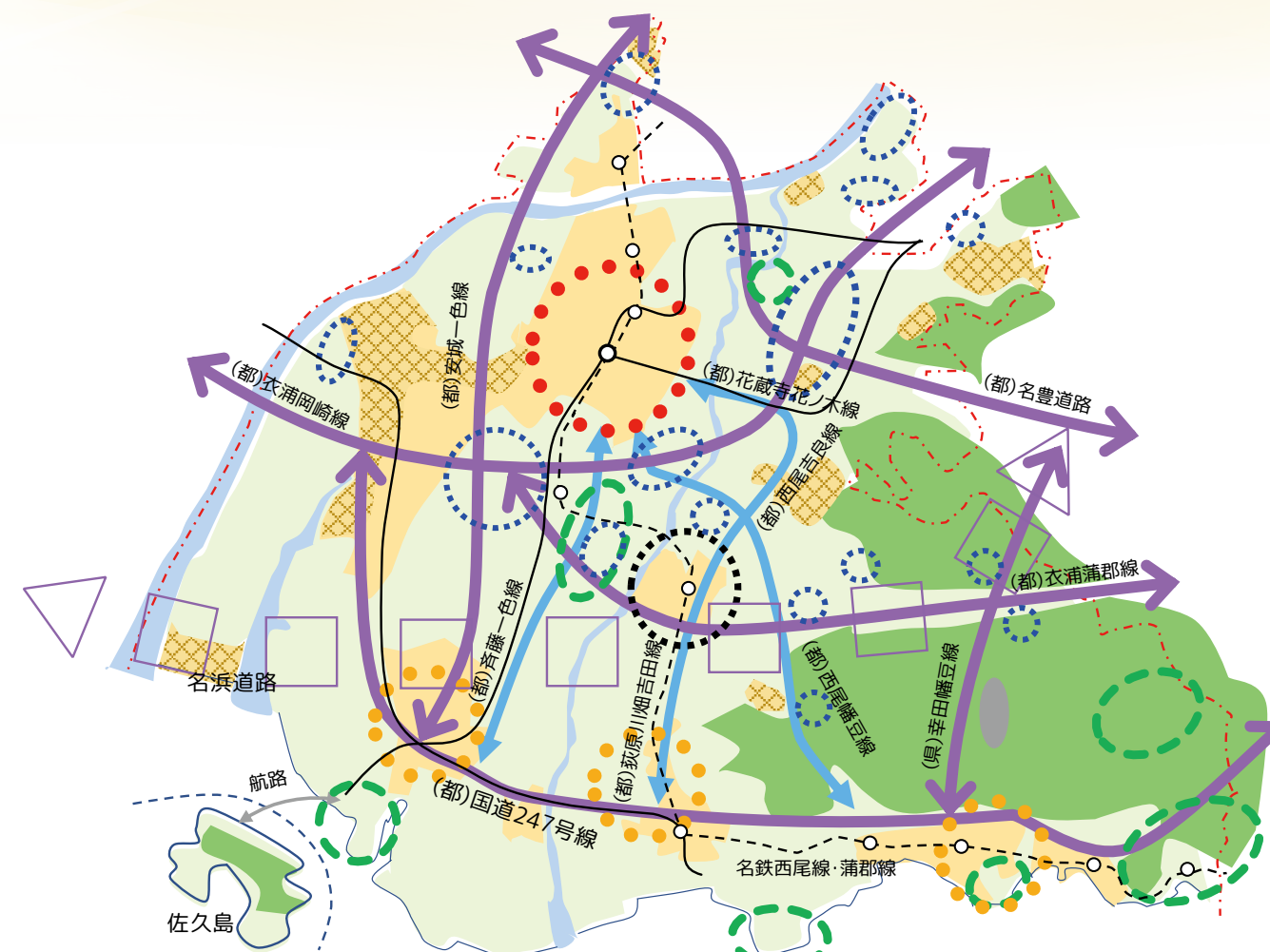
名鉄東部交通バス・名鉄バス(ふれんどバス)

- ・都心拠点と地域生活拠点(一色)を結ぶ公共交通軸
- ・地域生活拠点(吉良)と碧南市方面を結ぶ公共交通軸

航路

- ・佐久島と地域生活拠点(一色)を結ぶ公共交通軸

■ 土地利用構想イメージ



● 広域都市軸 (都)名豊道路(国道23号) (都)衣浦岡崎線 (都)国道247号線 (都)安城一色線(西三河南北道路) (都)衣浦蒲郡線 (県)幸田幡豆線 名浜道路(□□□) ● 都市軸 都心拠点～(都)花蔵寺花ノ木線 ～(都)荻原川畑吉田線 都心拠点～(都)西尾幡豆線 都心拠点～(都)斉藤一色線	公共交通軸 --- 名鉄西尾線・蒲郡線 — 名鉄東部交通バス・名鉄バス(ふれんどバス) — 航路	● 都心拠点 ● 地域生活拠点 ● 新生活拠点 ● 産業拠点 ● 交流拠点
● 利活用検討区域 愛知県と連携し、利活用を検討していく区域	● 住居系市街地ゾーン ● 工業系市街地ゾーン ● 田園・集落ゾーン ● 自然環境保全ゾーン	

本イメージは、にしお未来創造ビジョンの計画期間を超える将来的な構想も含んでおり、計画期間に限定したものではありません。

II

基本構想

施策体系

将来都市像

もっとワクワクするまち にしお

にしお
ワクワク
戦略

新たな
魅力
の創造

新たな
活動
の創造

新たな
システム
の創造

新たな
居場所
の創造

分野別基本計画

新たな魅力に挑戦するまち

1 観光

2 歴史文化

3 スポーツ

4 商工業

5 農水産業、地域ブランド

誰もがほっとする 持続可能なまち

1 道路

2 公共交通

3 市街地

4 公園・緑地

5 上水道

6 下水道

ともに楽しみ、ともに学び、ともに夢みるまち

1 子育て

2 学校教育

3 生涯学習

4 子ども・若者の育成支援

健康をつなげ 幸せがつながるまち

1 地域医療

2 健康づくり

3 高齢者福祉

4 障害者福祉

5 社会保障

いのちを守る 暮らしを守る 環境を守るまち

1 自然環境

2 河川・海岸

3 地球環境

4 環境衛生

5 防災・災害対策

6 防犯・交通安全

7 消防

誰もがキラキラと輝き、誇り・愛着の持てるまち

1 パートナーシップ

2 デジタルトランスフォーメーション(DX)

3 シティプロモーション

4 コミュニティ

5 行財政運営